



発行日 / 2015年(平成27年)6月15日 発行 / 羽生市議会 編集 / 議会だより編集委員会



## きゃっせ羽生「四季の丘」の彩

きゃっせゴールデンウィーク子どもまつりが開催されました。(5月3日～5日)

### 会議のあらまし

(3月定例市議会)

- ・2月25日(本会議第1日)  
開会の後、会期について議会運営委員長から報告があり、3月20日までの24日間と決定。  
諸般の報告の後、議案第26号及び同第29号の2議案が上程され、質疑、討論、採決を行う。
- ・2月26日～3月3日  
議案調査等のため休会
- ・3月4日(本会議第2日)  
議案第1号から同第25号まで、同第27号、同第28号及び同第30号から同第32号までの30議案に対する質疑の後、議案を各常任委員会に付託し散会
- ・3月5日(本会議第3日)  
市政に対する一般質問(5人)を行い散会
- ・3月6日(本会議第4日)  
市政に対する一般質問(4人)を行い散会
- ・3月7日、8日  
休日のため休会
- ・3月9日～12日  
付託議案の審査のため、各常任委員会を開催
- ・3月13日～19日  
各常任委員会事務整理等のため休会
- ・3月20日(本会議第5日)  
付託議案について各常任委員長から審査報告があり、質疑、討論、採決を行う。
- ・続いて、議員から議案1件が上程され、採決を行う。
- ・続いて、市長から追加議案4件が上程され、質疑、採決を行い閉会

# 改選後 初めての市議会開かれる

## 正副議長など議会人事決まる



副議長  
根岸 義男



議長  
松本 敏夫

改選後、初めての市議会となる平成27年第1回臨時羽生市議会は、5月15日に新議員14名により、会期1日間で開かれました

この臨時市議会では、正副議長の選挙をはじめ、埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙、加須市・羽生市水防事務組合議会議員の選挙、農業委員会委員の推薦が行われました。

また市長からは、専決処分事件の報告、工事請負契約の締結及び監査委員の同意を求める議案など6議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。(13面参照)

### 正副議長の就任あいさつ

市民の皆様には、常日頃市政運営に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、去る5月15日に開かれた改選後初めての臨時市議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長のご要職を務めることになりました。

私たちにとりまして身に余る光栄であるとともに、少子高齢化、人口減少問題など、羽生市を取り巻く現状と解決しなければならぬさまざまな課題を考えますと、改めてその責任の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思い

をいたしております。

安倍政権が進めるアベノミクスによる経済政策は、円安、株価上昇、雇用の増加など、景気上昇につながる環境が整えられつつあるものの、昨年行われた消費税率8%への引き上げによる個人消費の落ち込みも指摘されており、国に対しては、なお一層の経済対策への取り組みが、望まれているところであります。

また、円安により輸出主体の大企業では業績を伸ばしておりますが、中小企業を主体とする地方経済では、いまだ景気回復の実感には程遠く、地方自治体の財政運営についても、今まで同様に厳しい状況が続くものと予想されます。

市議会におきましては、市民の皆様への負託にこたえるため、行政に対する監視機関としての役割を果たすとともに、議会改革に積極的に取り組むことにより、市民の皆様から信頼される議会運営を推進してまいります。

今後とも、市民の皆様からのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

### 議会運営委員会委員 を選任

議会運営委員会は、各党派の中から選出された議員により構成されており、議長の諮問により効率的かつ円滑な議会運営について協議するため設置されています。

委員の構成は、次のとおり決まりました。

- 委員長 丑久保恒行議員
- 副委員長 島村 勉議員
- 委員 齊藤 隆議員
- 永沼 正人議員
- 柳沢 暁議員

### 各常任委員会の委員 構成決まる

常任委員会は、本会議において付託される議案、請願等を詳しく審査する機関として設置されています。

羽生市議会では、総務文教委員会と都市民生委員会の2委員会が設けられており、各議員はそれぞれいずれかの常任委員会に所属することとなっております。

各委員会所属議員は、次のページのとおりです。

総務文教委員会



委員  
柳沢 暁  
南羽生1丁目16-3



委員  
阿部 義治  
須影519-2



副委員長  
峯寄 貴生  
上村君405



委員長  
永沼 正人  
西5丁目26-7



委員  
斉藤 隆  
東1丁目3-55



委員  
保泉 和正  
藤井上組485



委員  
奥沢 和明  
三田ヶ谷18



委員  
根岸 義男  
上手子林1052



委員  
野中 一城  
東3丁目30-13



副委員長  
本田 裕  
南3丁目4-4



委員長  
中島 直樹  
南羽生4丁目17-2



委員  
丑久保 恒行  
上新郷128



委員  
松本 敏夫  
下岩瀬825-2



委員  
島村 勉  
北2丁目3-30

都市民生委員会

埼玉県都市競艇組合  
議会の議員決まる

市議会議員の任期満了に伴い、第1回臨時議会において埼玉県都市競艇組合議会議員の補欠選挙を行い、指名推薦により松本敏夫議長が同組合議会議員に当選しました。

奥沢和明議員を監査  
委員に選任

議会から選出されていた永沼正人前監査委員の任期が、市議会議員の任期満了に伴い4月29日に満了しました。

このため、新たに奥沢和明議員を監査委員に選任したいとして、市長から同意を求められました。

市議会では同議員を適任と認め同意しました。



# 3月定例市議会開く

## 平成27年度の市政運営はこのように

### 活力に満ちた 人輝く文化都市 羽生の実現に向けて

河田市長は、今期定例会で提出された議案の提案理由説明に先立ち、平成27年度の市政運営について次のように述べました。

## 市政運営方針

市政3期目の最初となる、羽生市平成27年度一般会計予算は、「日本一魅力ある羽生市」「単独での自主自律」そして「観光交流人口100万人」の3つのマニフェストの実現を加速するため、平成16年度以来11年ぶりの大型予算となる178億円を計上しました。

道路改修工事の充実や農地の活用推進、社会福祉費の自然増などにより、前年度と比較し12億1,000万円、率にして7.3%の増となりました。

また、特別会計は6つの会計全体で129億5,107万円となり、医療会計の自然増



市政に対する考えを述べる 河田市長

により平成26年度と比べ9.1%、10億8,524万円の増、水道会計は19億4,061万円、平成26年度と比較して8.5%、1億5,276万円の増となりました。

平成27年度予算編成にあたっては、第5次羽生市総合振興計画に定めた7つの基本政策の着実な進展を基本とし、特に「人口減少・少子化対策」、「公共施設の適正な管理」及び「社会保障・税番号制度」いわゆるマイナンバー制度への円滑な移行を重点施策として位置づけ、事業推進のための組織を見直しました。

本市の置かれた状況は依然厳しい中にありますが、今後全職員が一丸となって効果的な行政経営と効率的な財政運営に取組み、計画に沿った絶え間ない行政改革により、活力に満ちた羽生市を実現するため、次のような施策に取り組んでまいります。

## 市民が主役のまちづくり

市民参加・市民参画・市民協働

### ◎市民との協働によるまちづくり

羽生市まちづくり自治基本条例の着実な運用、人権スポーツ教室の開催、市民座談会の開催、岩瀬グローバルタウン構想の推進、国際交流・都市交流の推進等を行います。

### ◎安全で安心なまちづくり

羽生市地域防災計画の改定、自主防災組織の支援、内水害・雨水浸水対策の推進、消防団装備品強化、全防犯灯LED化、南羽生地区でのゾーン30の実施等を行います。

### ◎健康で希望に満ちたまちづくり

プラス1000歩健康ウォーク事業の実施、健康づくりの推進、子育て支援の推進、第4期障がい福祉計画の推進、高齢者支援の推進等を行います。

### ◎次代を担う個性豊かなまちづくり

幼児・家庭教育の充実、中学校のICTの活用強化、アドバンススクール等の推進、新

郷第二小学校舎大規模改造工事等教育施設の整備等を行います。

### ◎活力に満ちたまちづくり

農地中間管理事業の推進、プレミアム商品券発行事業の支援、企業誘致の推進、さまざまな観光資源を活用した観光の振興等を行います。

### ◎快適で住みやすいまちづくり

岩瀬土地区画整理事業の推進、主要幹線道路の整備促進、通学路安全対策、生活排水処理基本構想の見直し、適切なごみ処理の実施等を行います。

### ◎行政経営の改革

マイナンバー制度の対応、公共施設の維持管理費の削減及び平準化、遊休市有地貸付けなどの自主財源の確保等を行います。

### ◎人口減少・少子化対策

地方人口ビジョン、地方版総合戦略の策定等を行います。

# 市政に 対する

# 一般質問

## そこが… 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。

今期定例会では、3月5日、6日の2日間にわたり9人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 羽生市体育館の 空調設備の整備について

永沼正人議員

・質問 羽生市体育館の空調設備について次の点を伺う。  
①現在の体育館の利用状況について

②適切な温度管理のための空調設備の現状について

③羽生市体育館の避難所としての機能の現状と今後の整備計画について

④避難所として、子どもやお年寄りの体調維持のため適切な室温管理の出来る空調機能が必要と考えるが、その見解について

⑤空調設備の整備は、市長の政治決断と考えるが、その見解について

・答弁(生涯学習部長、市長)

①平成26年4月から平成27年1月末日の10カ月の稼働率は、



羽生市体育館

メインアリーナが99.6%、サブアリーナが96.5%、トレーニング室が93.3%などとなっている。

②空気を循環させる換気設備はあるが、冷暖房が可能な空調設備は、メインアリーナ南側の会議室とサブアリーナのエントランスのみ設置されている。

③避難所としての機能では、平成24年度に耐震化工事を終了している。防災備蓄品としては、アルファ米、飲料水、乾電池、毛布、ブルーシート、土のう袋、懐中電灯、コード

リール、拡声器、テントなどを備蓄している。今後の整備計画として、大型救急箱、避難所用緊急マット、鍋付き移動釜、かまどを予定している。また、プライバシー確保のための間仕切り用の段ボール等も今後、計画的に整備していきたい。

④冷暖房を可能にするとなると高額な費用を要することになるため、今後、経済情勢の好転などにより環境が整った場合に向け研究していきたい。

⑤体育館の空調設備となると広いため、卓球場や剣道場、柔道場については、前向きに考えていきたいと思うが、メインアリーナでは、どのくらいの費用がかかり、今の予算規模から支出できるかどうか、今後研究していきたいと考えている。

### その他の質問

・羽生市所有の公用車について

## 議会の詳細は 市議会会議録 をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに、本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会が発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

前会までの会議録は、市立図書館、各地区公民館、市議会図書室(市役所4階)に備え付けてあります。

また、市議会会議録は、市のホームページでも閲覧できます。平成8年以降の会議録がご覧になれますので、是非ご利用ください。

# 地産地消への

## 取り組みについて

峯寄 貴生 議員

- ・質問 次の点について伺う。
- ①推奨農畜産物の設定など「安心安全な食」としての地元農畜産物の信頼確保について
  - ②新たな担い手の育成や耕作放棄地の活用など生産体制の強化について
  - ③ブランド化推進や加工品の開発など生産地の収益力強化について
  - ④学校給食などへの地元農畜産物の安定的な供給と食育の推進について
  - ⑤地元農畜産物の消費拡大やPR推進について
- ・答弁 (経済環境部長)
- ①安全で付加価値の高い生産を進めるため、特別栽培農産物認証制度やエコファーマー認定制度、農薬や化学肥料の使用量を減らした農業生産への取り組み拡大を推進しているところである。
  - ②はにゅう農業担い手育成塾を拠点に人材の育成を図るとともに、企業の農業参入を積極的に進めている。また、耕作放棄地については、市内全域を調査し、認定農業者、農業参入した企業などによる再生活動の取り組みを行なっている。
  - ③ブランド化の推進では、米

のブランド化が重要と考え、JAほくさい、県、生産者と連携して取り組んでいきたいと考えている。

④学校給食では、米は100%



地元農産物を販売する「むじな市場」

羽生市産米を利用し、野菜は、長ネギ、白菜など10品目、その他、羽生産豚肉や宝蔵寺みそを利用している。また、食育の推進では、給食日よりなどで、給食で利用する食材や食生活について紹介し、食と健康についての理解や関心を高めているところである。

⑤羽生産農産物を積極的に取り扱っている小売店、飲食店などを羽生産農産物サポート店として登録し、利用者及び消費者双方が羽生の農産物を応援する取り組みを考えている。

# ごみの減量化について

茂木 延夫 議員

- ・質問 次の点について伺う。
- ①羽生市の「ごみの減量化の実績、現状に対する認識について
  - ②「ごみの減量化が進まない理由」に対し、どのように考えているか
  - ③今後の「ごみ発生抑制、再資源化推進等の具体策」に対し、どのように考えているか
- ・答弁 (①経済環境部長)
- ④家庭ごみの有料化における「ごみの有料化検討事業」の検討内容及び有料化実施に対する見解について
  - ①ごみの総排出量は、平成18年度をピークに平成22年度までは、順調に減少していたが、その後は、微増が続いている。

羽生市総合振興計画の中で平成29年度までの目標値を定めているが、1人当たりのごみ排出量については、達成が難しい状況となっている。

②生活用品の修理・修繕によ



羽生市清掃センター

る再利用意識の希薄化などにより、ごみの排出総量も増加していると考えている。ごみ排出抑制のための啓蒙・啓発活動を一層努力していきたいと考えている。

③ごみの発生抑制については、段階的に「ごみの分別」を実施し、市民一人一人の意識の高揚によって効果が期待できるものと考えている。また、再資源化推進については、焼却灰を専門のリサイクル会社に委託し、人工砂や人工石にしており、不燃物のビニール類やプ

ラスチック類等は、発電用燃料として再利用している。

④ごみ有料化の検討では、羽生市廃棄物減量等推進審議会で家庭ごみの有料化について審議が行われ、ごみの有料化にあたっては、減量化対策を講じ、効果がこれ以上見込めないと判断された場合のみ有料化すべきという結論となっている。また、有料化実施については、同審議会を中心に市民の声を聞いて、その方向性を図っていききたいと考えている。

# まち・ひと・しごと 創生について

齊藤 隆議員

・質問 次の点について伺う。

- ① 地方創生の主役は、市町村であり創意と実行そして責任を持ってまちづくりをしなければならぬ。そこで、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方人口ビジョンの認識について
- ② 総合戦略策定を行うための

委員会等の設置について

- ③ 総合戦略策定にあたっての羽生市の課題の抽出、目標設定、効果検証の在り方について
- ④ 地方人口ビジョン策定の留意点と完了時期について

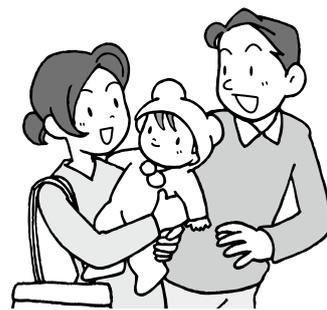
・答弁 (企画財務部長)

- ① 羽生市の人口の現状と将来の姿について、正確な情報を

共有することから始め、将来の目指すべき方向を示すことであると考えている。そして、総合戦略の重要な基礎となるもので、羽生の地域性や地域資源を生かした総合戦略を策定するものであると認識している。

- ② 市民をはじめ産業界、金融機関、教育・保育関係者、労働団体、商工会などで構成する組織で審議検討することが重要であると認識している。
- ③ 国等からの各種データや市民アンケートの結果などを分

析し、羽生市の課題を整理し、施策の目標数値を設定したいと考えている。効果については、重要業績評価指標の達成度を外部有識者により検証する予定である。



- ④ 15歳未満、15歳～64歳、65歳以上の年齢3区分別の人口の推移、出生数などの時系列の状況やビッグデータの分析結果を活用した上で、市民の意識調査等も踏まえ、羽生市人口ビジョンを策定する予定である。時期については、総合戦略の次年度予算への反映を考え、8月には策定したいと考えている。

## その他の質問

- ・地域防災力の強化を目指すことについて

# 「世界キャラクターさみっと in羽生」の総括について

島村 勉議員

・質問

- ① 交通状況について伺う。
- ・周辺道路の渋滞状況について
- ・自動車、バス、自転車、徒歩等の人数について
- ・今後の課題について
- ② 経費について伺う。
- ・決算額が大きく増加しているが、その詳細について

・入場者数に対する運営協力金の収入状況について

- ・運営協力金の徴収を含め、今後の課題について
- ・来年度以降、いつまで続けるかについて

・答弁 (経済環境部長)

- ① 2日間とも渋滞はなく、今回、駐車代の協力をいただ



世界キャラクターさみっとin羽生

いたことなどが渋滞の解消に大きく作用したと考えている。自動車の利用人数は、協力金から単純計算し、3万2,912人で、バスは利用料金

から7,000人程度と推測している。自転車、歩行者については、正確な数は把握できていない状況である。

今後の課題としては、渋滞

を考慮しシャトルバスの発着所を遠方に設定したが、次回以降は、会場近くに設定したいと考えている。

- ② 予算と決算との差について、収入では、参加キャラクターが想定よりも多い430の参加があり、出展料の追加等により増となった。支出では、水郷公園使用料の発生に

より大幅な増となったものである。

運営協力金では、駐車場協力金が約823万円で、入場の際の協力金は、任意の協力金のため、全体入場者数に比して少額となったものである。

次回からの運営協力金については、従来どおり頂かない方向で検討している。

来年度も開催が決定しており、地域や商店街の活性化のために、新たな企画や工夫を重ね、一層の努力をしていきたいと考えている。

# 羽生市と海外姉妹都市等との熟慮すべき点について

新井貫司議員

・質問 次の点について何う。

- ①米国ミルブレイ市との姉妹都市締結の目的について
- ②ミルブレイ市の情報を市民に提供し、相互認識に努めているのか。民間レベルの友好協会と本市の国際交流担当部署のかかりについて
- ③国際状況の悪化に伴う、自治体の海外姉妹都市との親善交流に対する、国や県の指導について
- ④本市の児童・生徒の海外派遣事業や友好親善事業を今後どのように進めていくのか。
- ⑤危険な海外へ児童・生徒を派遣するより、夏休みにエアコンを活用し、語学教育を行う

う方が効果的ではないか。  
⑥世界中にテロがはびこる中、国際交流のあり方について、どのように考えるのか見解は。

・答弁 ①⑥市長、②③総務部長、④総務部長、学校教育部長、⑤学校教育部長

①異なる文化を理解し、語学力を身につけた世界で活躍出来る人材の育成が目的である。  
②ミルブレイ市の情報は、いまだ広く市民に周知していない。今後積極的な情報提供に努めたい。また担当部署は秘

書広報課で、情報提供など活動のサポートを行っている。  
③外務省より県を経由し市民への海外渡航の注意喚起の依頼があった。また文部科学省から県を経由し海外渡航時安全確保の注意喚起があった。

④渡航先の大使館等から最新情報を入手するなど安全確保に努めるとともに、場合によっては事業の延期、あるいは中止の判断をする考えである。

⑤外国での生活体験は、子供たちにとって国際感覚を身につける貴重な経験と捉えているが、外国語教師による語学教育も効果的であり、積極的に事業を推進していきたい。

⑥市民が姉妹都市等に渡航する際には、外務省の危険度情報等により、安全対策に万全を期したい。



# 農地中間管理事業を活用した農用地対策について

奥沢和明議員

・質問 農地中間管理事業を活用、推進し本市農業の構造改革を実践していくことが喫緊の課題と考え、次の点について何う。

- ①事業の概要について
- ②今までの取組内容と今後の課題について
- ③JAほくさいとの連携、集

落単位での機構集約協力金の提示、機構が借り受けられない農地への対応、「羽生の里」への農業公社機能の付加など、今後の推進方策について

・答弁 (経済環境部長)  
①農地中間管理事業は、都道府県ごとに農地中間管理機構を設置し、埼玉県では公益法

人埼玉県農林公社が該当するが、農地所有者から農地を借受け、新たな借り手に貸付けるもので、必要に応じ農地の区画拡大など条件整備を行っている。

124名から24haの農地を借受け、企業も含め10名に貸付けている。今後の課題は、農地所有者と耕作者の合意形成及び農地の受け手の確保である。

③平成27年度は手子林、三田ヶ谷を重点地区として取り組むが、各農業振興協議会、農家組合からの要請に対応できる体制づくりをしたい。

平成27年1月にJAほくさいと機構において、事業に関する業務契約が締結されており、JAほくさいとは従来に増して密接に連携していく。

機構集約協力金の提示は、交付要件や金額の変更もあるため今後慎重に検討したい。機構が借り受けられない農地については、多面的機能支払交付金事業を活用し、地域で農地を守る施策に取組む。羽生の里は現在経営改善の途中のため、農業公社機能の付加は今後の検討としたい。

## その他の質問

・少子化対策について  
・学校のイスラミックスステート (IS) 情報等対策について



農地中間管理事業(発戸)が一体となつて推進した結果、国の優良事例として高い評価を受けた。現在



# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めめるものです。今期定例会では、次の議員によって行われました。

## 峯崎 貴生 議員

○議案第1号 平成27年度羽生市一般会計予算  
・質疑 次の点について伺いたい。

- ①雨水浸水対策検討委託料の詳細について
- ②水害対策業務委託料の詳細について

・答弁(まちづくり部長)

①近年の台風やゲリラ豪雨などの集中豪雨に対し、市街地の浸水被害の軽減を図るため、平成26年度に実施した現況調査をもとに、具体的な雨水浸水対策の計画策定を行うものである。具体的には、短期で行える道路かさ上げなどの側溝対策、中長期的な視点で検討が必要な貯水施設の対策など優先順位を整理しながら実施可能な雨水浸水対策事業の計画を策

定したい。

②大雨時による冠水や浸水などの被害軽減を目的とするもので、市民からの土のう配布要望に対し、各家庭に運搬を行う業務と、土のうステーションの設置業務である。平成27年度の土のうステーションの設置については、浸水被害の大きい旭町地区、城沼地区を中心に5ヶ所程度で、設置場所については市の所有地で考えている。

### その他の質問

・議案第24号

## 斉藤 隆 議員

○議案第1号 平成27年度羽生市一般会計予算

・質疑 子ども医療助成費1億7,000万円に関して、現物給付により想定される増加率及び増加額についてまた、

当該費用の抑制対策について伺いたい。

・答弁(市民福祉部長)

子ども医療費助成が償還払いから現物給付に移行することに伴い、近隣市の実績では、助成費が約3割増加していることから、当市においても3割程度増加するものと想定している。

助成費総額で1億7,000万円、平成26年度当初予算と比較して3,500万円の増額計上となった。

この費用の抑制対策としては、昨年12月に新たな受給者証を送付する際に、適正受診を促す啓発チラシを同封したほか、日頃から、広報や市のホームページを通じて医療機関への適性受診の協力をお願いしているところである。

今後も現物給付の制度維持のために、適正受診の推進だけでなく、重複受診、頻回受診の自粛、ジェネリック医薬品の推奨などに努めていきたい。

### その他の質問

・議案第2号、第3号、第6号、第8号、第9号、第13号、第23号、第25号

## 永沼 正人 議員

○議案第1号 平成27年度羽生市一般会計予算

・質疑 埼玉利根保険医療圏医療連携推進協議会負担金について伺いたい。

①「とねっと」の加入率について

②救急搬送先である羽生総合病院の電子カルテとの整合性について

③協議会に負担金を負担し続けることが合理的な判断なのか。

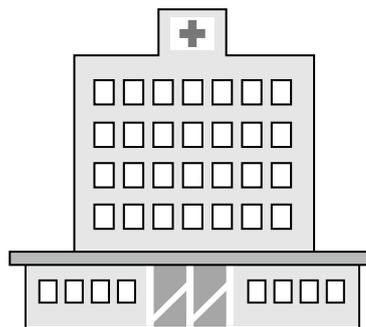
・答弁(市民福祉部長)

①本市の加入者は、2月現在1,413名、2.53%である。また、32医療機関中13医療機関が加入しており40.6%である。

②患者が所有する「とねっと」の番号とのリンクを行えば、自動で検査記録や処方記録が「とねっと」データベースに蓄積される仕組みになっている。

③「とねっと」は、今後の医療を活用する場合に必要な事項を支援する重要なシステムである。検査状況や薬の処方状況を共有することで、医療

費の削減にも寄与するものであり、スタートして間もないが、大事に育てていきたいと考えている。



## 奥沢 和明 議員

○議案第1号 平成27年度羽生市一般会計予算

・質疑 公共施設等総合管理計画の策定について、26年度からの進捗状況及び今後の策定計画、策定後の進め方について伺いたい。

・答弁（企画財政部長）

進捗状況については、今年度は、羽生市公共施設等総合管理計画を策定するための基礎資料となる羽生市公共施設白書の作成に向け、建物のデータ整理を進めているところである。今後、この公共施設白書をもとに将来コストの推計、公共施設等の現状について認識を共有し、維持管理方針を考えるための市民を交えた検討会なども行つたうえで、公共施設等総合管理計画を策定する予定である。この計画は、施設の維持管理、更新等に係る費用の見込みや総量等に関する数値目標を設定し、また、長寿命化、統廃合などの管理に関する根本的な考え方を定めるものである。策定後は、これを着実に推進する担当を置き、事業費の平準化を図りながら、PDCAサイクルにより進めていきたい。

その他の質問

・議案第9号

蜂須 直巳 議員

○議案第9号 平成26年度羽生市一般会計補正予算

・質疑 岩瀬グローバルタウン

構想として岩瀬小学校で英語に特化した教育を行うとのことだが、他の地区でも格差のない教育の推進についての見解を伺いたい。

・答弁（学校教育部長）

住みたい、住み続けたいまちにするには、教育の充実、欠かせないものである。岩瀬小学校は、今回教育課程特例校として国から指定を受けることができた。そのため、教育委員会では、岩瀬小学校において、最先端の英語教育の研究を推進していく計画である。羽生市では、従来から、近隣の市よりもALTの配置を充実させ市内全体のレベルアップを図っているが、今後さらに充実させるため、焦点化をし、深められた研究を市内全体で共有していくことが効果的であると考えている。英語教育の推進は、これまで村君小学校で研究を進めているが、今後岩瀬小学校との両校で研究を進め、研究成果を市内全域の小学校に広げていきたいと考えている。

その他の質問

・議案第1号

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、長谷川恒夫委員の任期が3月27日をもって満了となるため、引き続き同氏を選任したいとして、市長から同意を求められました。市議会では、同氏を適任と認め同意いたしました。

公平委員会委員の選任に同意

公平委員会委員の五月女悦子氏、熊倉政雄氏、井上昭二郎氏の任期が5月31日をもって満了のため、熊倉政雄氏を引き続き選任し、新たに春山富美子氏、西山博高氏を選任したいとして、市長から同意を求められました。議会では、三氏を適任と認め同意いたしました。



6月定例会市議会の日程

6月定例会市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
6月18日	木	午前9時30分	本会議初日（開会）
6月19日	金		議案調査等のため休会
6月24日	水		議案調査等のため休会
6月25日	木	午前9時30分	本会議（議案に対する質疑、市政に対する一般質問）
6月26日	金	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
6月27日	土		休日のため休会
6月28日	日		休日のため休会
6月29日	月	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
6月30日	火	午前9時30分	各常任委員会
7月1日	水		事務整理等のため休会
7月2日	木		事務整理等のため休会
7月3日	金	午前9時30分	本会議最終日（閉会）

※6月定例会市議会の日程は、6月16日（火）に開催予定の議会運営委員会にて正式に決まりますので、変更になる場合があります。

3月定例会 審議案件とその結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 無会派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and voting members (薫風, 拓政, 公明, 無派) with sub-columns for individual members like 峯寄貴生, 永沼正人, etc.

議員提出議案

Table row for 議案第1号: 羽生市議会委員会条例の一部を改正する条例. Voting results: 10 Yes, 0 No, 0 Absent, 0 Vacant.

市長提出議案

Main table of 36 items (第1号 to 第36号) with columns for 議案番号, 議案名, and voting results for each member.

※議長は採決に加わりません。

### 平成27年第1回臨時市議会 審議案件とその結果

#### ●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

議案番号	議案名	薫風						拓政		公明		共産		無派		審議結果
		本田裕	峯寄貴生	永沼正人	奥沢和明	根岸義男	松本敏夫	丑久保恒行	島村勉	保泉和正	野中一城	斉藤隆	柳沢暁	阿部義治	中島直樹	

#### 市長提出議案

第37号	専決処分の承認を求めることについて (1) (羽生市税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第38号	専決処分の承認を求めることについて (2) (羽生市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第39号	専決処分の承認を求めることについて (3) (羽生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第40号	羽生市立新郷第二小学校校舎大規模改造等工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第41号	緊急通信指令システム整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第42号	羽生市監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	除	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※議長は採決に加わりません。

#### 農業委員会委員を推薦

農業委員会委員の任期満了に伴い、市長から推薦依頼を受けたため、次の4名の方を推薦いたしました。

- 上新郷 中島 牡雄氏
- 須影 荒井 守氏
- 中岩瀬 木村 佐吉氏
- 三田ヶ谷 大越 君雄氏

#### 加須市・羽生市水防事務組合議会議員の選挙

加須市・羽生市水防事務組合は、利根川及び渡良瀬川の水利に関する事務を2市共同で行っています。この水防事務組合議会議員の任期満了に伴い、本会議において選挙を行いました。

#### ▽同組合規約第6条の規定による議員

- 齊藤 隆氏
  - 保泉 和正氏
  - 奥沢 和明氏
- ▽同組合規約第6条ただし書の規定による議員

- 西田 哲三氏
- 高瀬 浩一氏
- 齊藤 建一氏

#### ボートレース戸田

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。平成26年度は、6千万円の交付金がありました。

月	火	水	木	金	土	日
					6月13日	14
					第10回日刊ゲンダイ杯	
15	16	17	18	19	20	21
日刊ゲンダイ杯			第10回隼杯			
22	23	24	25	26	27	28
隼杯						
29	30	7月1日	2	3	4	5
日本財団会長杯						
6	7	8	9	10	11	12
日本財団会長杯						

#### ◆開催日◆

#### 高橋督儀議員逝去



高橋督儀議員が、去る4月18日にご逝去されました。享年72歳でした。

故高橋督儀議員は、昭和58年4月に初当選し、6期23年11ヶ月の長きにわたり、市議会議員、議会運営委員長などを歴任され議会活動に顕著な業績を残されました。

市民の皆様の要望に応えるため、日夜を分かたず職務に邁進する姿勢は、多くの人の信頼と敬愛を得ていました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

#### 傍聴のご案内

羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。市役所5階で受付をいただければ、どなたでも傍聴できます。(一般席48席) また、常任委員会の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、お気軽におこしください。

常任委員会は午前9時30分に開会いたしますので、傍聴を希望される方は開会前におこしください。なお、開会後の入退室は休憩中においていたします。詳しくは、市のホームページをご覧ください。事務局にお問い合わせください。 ☎048(561)1121 (内線) 513

# 各常任委員会の経過

## 総務文教委員会

委員会に付託された案件は、議案11件でした。

平成27年度羽生市一般会計補正予算第1号の審査では、防犯費において、「防犯灯のLED化の事業で、工事請負ではなく、借上げ方式で実施する理由及び経費節減の効果について何う。」との質疑に対して、「10年リースとすることで1年に係る費用のみでなく、現状の防犯灯の設置状況等調査費、機器保守費などもリース代に含めることが出来るため借上げ方式としたところである。また、LED化することで電気料が今までの45%程度となり、年額約240万円が削減できる見込みである。」との答弁がありました。

次に平成26年度羽生市一

般会計補正予算第8号の審査では、企画費において「いわゆるマイナンバー制度に係る整備を行なってきたいるが、市民や行政にとって利益になるものについて何う。」との質疑に対し「国が示しているものでは、行政間で所得や税情報などがやり取りされるため、転入や転出時に市民が市役所等に提出する書類が少なくなるなど利便性が向上し、行政事務では、問い合わせをしなければならなかったものが、システム上で確認でき



審査結果を報告する茂木委員長

## 都市民生委員会

委員会に付託された案件は、議案21件でした。

平成27年度羽生市一般会計予算の審査では、斎場費において「斎場の排煙対策に関し、今後の対応について何う。」との質疑に対して、「不完全燃焼対策として、試行的に1炉に空気を供給する送風機を設置する予定である。今後も適切な管理に努めていきたい。」との質疑がありました。

また道路新設改良費において「道路側溝の全蓋化について、完了年度など今後の計画を何う。」との質疑に対して、「旧羽生町内の市街化区域における道路側溝の全蓋化については、今後3年間でおおむね完了する予定である。また市街化調整区域については、通学路や危険箇所等について、

るようになり効率化が図られることが想定される。」との答弁がありました。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案11件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

て、地元自治会や各小・中学校関係者と相談し、対応していきたい。」との答弁がありました。

次に、羽生市消防団条例の一部を改正する条例の審査では「消防団員の入団資格について、市内在住者だけでなく市内勤務者まで拡大することだが、勤務する企業の協力が不可欠と考える。見解を何う。」との質疑に対して「社員の消防団への入団に理解を示す企



審査結果を報告する奥沢委員長

業に対し、協力事業所の表示を交付できる制度もあり、市内の企業に、理解・協力を求めていきたいと考えている。」との答弁がありました。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案21件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 3月定例市議会傍聴者数

2月25日	3人
3月4日	3人
5日	14人
6日	22人
20日	1人
計	43人でした。

### 常任委員会傍聴者数

3月9日	0人
10日	2人
11日	0人
12日	0人
計	2人でした。

### 《議会だより編集委員会》

- 委員長 松本敏夫
- 副委員長 根岸義男
- 委員 丑久保恒行
- 委員 永沼正人
- 委員 中島直樹

ご意見などを  
編集委員会まで



☎048(561)1121  
(内線)513